

2025年10月発行
第16号

いずみ

2025.2.22

第15回通常総会を開催

和泉短期大学内にて第15回通常総会が開催されました。教職員の方々、父母会会長、後援会会長、卒業生などにご出席いただき、活動報告・会計報告・予算等滞りなく進行され承認されました。総会後には近況報告や和泉の今を語りあうひと時をもつことができました。

会長挨拶 ● 川井 趙彦 (42期生・2008年3月卒業) ●



同窓会いずみ会員の皆さまには、ますますご健勝でご活躍のことと心よりお喜び申し上げます。また、日頃より同窓会活動に温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第15回定期総会は実地で開催し、父母会、後援会、教職員の皆様にも多数ご参加いただきました。総会終了後の茶話会でも情報交換が行われ、充実した時間となりました。今年度もより良い同窓会運営を目指してまいります。

2025年の現在、世界は大きな転換期にあります。地政学的リスクや異常気象、AIをはじめとする技術進化の中で、保育・福祉の現場も変化しています。特に「地域共生社会の実現」や「質の高い対人支援」が求められ、私たちの専門性への期待も高まっています。

和泉短期大学では2024年度から「専攻科ヒューマンケア専攻」がスタートしました。乳幼児から高齢者まで支援できる専門職の育成をめざす、今の

時代に必要な学びです。和泉短期大学が保育・福祉の“未来を担う人材”を育てる場として進化していることを心から嬉しく思っています。

同窓会いずみもまた、オンラインとリアルのつながりを両立させながら、「母校に足を運ぶきっかけづくり」や「在校生と卒業生の交流」に力を入れています。今年度もいずみ祭や地域交流イベントを予定しており、多くの皆さまとお会いできることを楽しみにしています。

同窓会は思い出を分かち合う場であると同時に、保育・福祉の現場で活躍する仲間がつながり、支え合える場でもあります。今後も互いに学び合い、情報を共有し、励まし合えるネットワークづくりに取り組んでまいります。

最後に、同窓会いずみは母校と卒業生、卒業生同士、そして在校生とのつながりを育む“架け橋”として、これからも丁寧に歩みを進めてまいります。和泉短期大学のさらなる発展と、同窓生の皆さまのご健康・ご活躍を心より願い、ご挨拶とさせていただきます。

これからも変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



同窓会いずみ 決算・監査報告書、収支予算書案のご報告

同窓会いずみの決算・監査報告および収支予算書は和泉短期大学ホームページ内にあります。

同窓会ページに公開致しますのでそちらをご覧ください。

右のQRコードから和泉短期大学HPの同窓会ページをご覧ください





2025年度から27年度にかけて約50校の短大が学生募集を停止し、この数はさらに増えると見込まれます。県内でも50年以上の歴史を有するJ短大やY短大が募集停止となりました。

和泉短期大学も子ども支援ソーシャルワーカー（独自資格）を設け、専攻科をヒューマンケア専攻にリニューアルし、質の高い保育者・福祉従事者を育てて地域に送り出していますが、入学者の減少に歯止めがかからない状況です。

この背景には少子化によって4大に進学しやすくなったことや保育者の職のイメージが低下していることが考えられます。

政府は「地方創生」を掲げていますが、学生募集を停止した多くの学校が保育士や介護福祉士などその地域を支える人材の養成機関です。養成校の灯が消えることは、地域にとって致命的なことになります。果たしてこのままで良いのでしょうか。

短大は4大よりも短期間で卒業でき、学費水準が安く家計が苦しい学生の進学先という側面があります。本学も、全学生の3人に1人が国の修学支援制度（低所得者向け支援）を利用している状況です。

一方、文部科学省は各学校に定員割れが続く場合のペナルティを課しています。「3年連続で学生数が

収容定員の8割未満」となると修学支援制度の対象外となるのです。この制度の対象校であることは本学として生命線で、収容定員の削減を文部科学省に届け出る予定です。

本学は入学者の減少で厳しい財政事情となっていますが、福祉を標榜し、魅力ある学校を実現するための決断をしています。例えば、支援を要する学生への新たなサポート体制のためスクールソーシャルワーカーを配置しました。また、たとえ受講生は少なくても医療的ケア児・高齢者のための喀痰吸引研修等は継続します。さらに、先達が大切にしてくれた施設拡充の資産の一部を取崩しエレベータの設置、学生ホールのリニューアルを行います。

こうした実情を知っていただくよう、相模原市をはじめ近隣の自治体や関係機関に働きかけを強めております。また、同窓会の協力の下で実現したSC相模原ホームゲームでの託児室の運営も続けております。地道な活動がいつか実を結ぶことを信じて。

同窓会の会報が電子化されることになりました。今まで以上に様々な記事を目にする機会が増えることを期待します。そして、卒業生の皆様には母校の今を見て感じていただきたいと思います。

そして、本学の取り組みに共感していただけるようでしたら、ご寄付を願えれば幸いです。これまでも、これからも次世代を担う学生たちの学びを支える大切な力となっておりますので、お力添えを心よりお願い申し上げます。

和泉短期大学からの連絡事項

学生ホールがリニューアル！

思い出が詰まった学生ホールが生まれ変わりました！居心地よさを大切に、みんなのウェルビーイングを育む空間へ。卒業生の皆さんもぜひ遊びにきてください。創立70周年を迎える和泉短期大学の新たな歩みが始まります！来春にはエレベーター設置を予定しています。和泉のいまをお届けしているInstagramもぜひチェックしてみてください。



和泉短大Instagram
<https://www.instagram.com/izumijuniorcollege/>



同窓会いずみから重要なお知らせ

平塚事務局長の挨拶にもございましたが、現在短期大学は、募集停止や閉校を余儀なくされております。和泉短期大学も同様で学生数の減少は年々増加しております。同窓会は学生の皆様が納める同窓会費で成り立っているため、収入が減り、同窓会の予算も厳しい状況になっております。同時に物価高騰の煽りを受け、郵送費や印刷費が収入よりも高くなっている状況です。予算を同窓生や在学生に有意義に使用する事を検討し、**同窓会報を次号よりデータのみでの発行する苦渋の決断を致しました。**手に取って頂き見ていただきたいところではございますが、ご理解頂けると幸いです。

また、同窓会の活動や和泉短大の情報を共有する事を目的とした新たに「公式LINE」を開設致します。【P4にQRコードを記載しております】毎年発行します会報やいずみ祭での様子、ボランティアの募集なども配信致しますので、是非ご登録をお願いします。

今こそ卒業生と在学生が一丸となり、和泉短大を応援して頂きたいと思っています。口コミなどで拡散して頂けると幸ですが、まずは気軽に学校に遊びに来てもらえることが一番の活力になると思いますので、足を運んで頂けると幸いです。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

Q1 学生の人々と過ごす中で、いちばん楽しかった思い出は？

授業『リトミック』を教えること、そのこと自体が一番充実していたし、楽しかった思い出です。目を輝かせて学生たちはよく学んでくれました。そして成長する姿を確認することができました。今では実習園巡回の際、必ず卒業生の誰かが、そこで活躍しています。嬉しい限りです。

Q2 和泉短大って、先生にとってどんな場所でしたか？

おおよそ半世紀49年間奉職しました。人生そのものですよ。20代、30代はただただ一生懸命に前を向くのみでした。40代からは、仕事・子育て・教育・研究等と色々ありました。そして60代、70代と今でも特任教授として残っています。いつでも和泉での授業のこと、学生のことを一番に優先して考えることができました。私の周りの人々そして、特に家族には感謝しかありません。

インタビュー (Q&A)

武石先生に聞きました！

今年度で教員生活を卒業される児童福祉学科
特任教授 武石 宣子先生に5つの質問をしました！

インタビュー：川井 超彦 (42期生・2008年3月卒業)

Q3 昔と今の学生を比べて、変わったなぁと思うことは？

昔は、学生募集に苦勞をすることは今ほどではなかったように感じています。4コース制(社会福祉コース・児童福祉コース・保育コース・幼児教育コース)をとっていて、一学年で400名以上の学生が学んでいたことが思い出されます。特に社会福祉コースは、卒業と同時に社会福祉士国家試験受験資格を得られるコースで、2年間で120単位(4大に匹敵)ほど履修教科目があり、朝から晩まで学校で貪欲に学んでいた学生の姿が思い出されます。

そして、男女共学に移行したことも衝撃的でした。先駆的に導入してから20数年ほどになるのでしょうか。導入にあたり教授会で真剣に話し合ったことが、今でも鮮明に思い出されます。



Q4 卒業生の人々に、今でも心にとめていてほしいことは？

卒業生の多くは卒業と同時に保育士資格・幼稚園教諭二種免許を取得しました。その資格・免許のもつ意味をしっかりと見つめてほしいですね。そのことを生かし世の中で貢献してほしいと願うばかりです。

もう一つ忘れないでほしいことは、和泉での礼拝(チャペルアワー)を通して感受した「神様から注がれる大きな愛」です。神様はいつも共にいてくださり、私たちを命がけで愛してくださる、そのことをしっかりと心にとめ続けてください。

インタビューを終えて・・・

和泉の現在までの卒業生すべての学生に授業を行った「武石宣子」先生にインタビューをさせていただきました。武石先生は「今年度をもって和泉短期大学教員生活を卒業する」とお話されていましたが、「和泉に武石先生がいないとなるととても寂しい」と卒業生たち全員口をそろえて言うことは間違いないでしょう。卒業後は何を楽しみにするのか聞いたところ、「京都や軽井沢も好きだけど、世界をもっと旅したいと一人旅をとにかく楽しむ」とのことです。計画を沢山聴かせていただきました。また、「大学でもっと勉強して学生として過ごしたい。」ともお話されていました。武石先生らしいエネルギッシュなお話を沢山聴くことができました。

和泉を愛し、和泉に愛された「武石宣子」先生、お忙しい中インタビューにお付き合いいただきありがとうございます。皆様の是非和泉に足を運んでいただき、武石先生に会いに来てください。



Q5 最後に、卒業生たちへひとことメッセージをお願いします！

本学は日本で唯一のキリスト教主義の、保育士養成校児童福祉学科単科の短期大学です。卒業後も皆さんを支え続ける学校です。いつでも遊びに来てください。そして変化し続ける学校を見守ってください。学生時代の誰か、何かがここにはまだ残っています。2代目の学生はもちろん、3代目の学生も学ぶようになってきました。今後も卒業生、地域の人々に愛されるそんな学校であり続けたいです。

私は今年度で、和泉短期大学教員生活を卒業いたします。本当に素晴らしい学生・卒業生に囲まれ幸せな時でした。あつという間でした。そして、私の専門『リトミック』を教える場をこの和泉短期大学にいただき、心より感謝いたします。



同窓会活動報告

SC相模原スタジアム託児室

相模原のプロサッカーチーム「SC相模原」(J3)のホームゲーム(ギオンスタジアム)にて和泉短期大学と株式会社OHARAとSC相模原の相互協力のもと、託児ルームを開設しています。

保育スタッフとして同窓会役員と学生ボランティアが参加し、今シーズン11月まで開設しています。

同窓会いずみでは、みなさまからお預かりしている同窓会費を様々な形で、卒業生や在校生のために使わせていただいています。入学祝や卒業祝い品、クリスマス礼拝や焼き芋会など学校行事においても支援させていただきました。いずみ祭では「ひろっぱ」に地域の方を含め、多くの卒業生も遊びに来ていただきました。



いずみ祭 ホームcomingデー いずみのひろっぱ (卒業生と教職員の交流スペース)

開催日時 10月25日(土) 10時～15時

場 所 和泉短期大学 1号館 200教室

● 事前申し込み不要、当日直接短大にお越しください。



第16回通常総会のお知らせ

開催日 2026年2月21日(土)

時 間 13:00受付開始 14:15終了予定

場 所 和泉短期大学

対 象 玉川保育専門学院・和泉短期大学
和泉(老人)福祉専門学校卒業生

終了後に学校関係者との
茶話会を開催予定！
先生とお話に華を咲かせましょう

出席をご希望される方は、和泉短期大学ホームページ内にある
同窓会ページからご連絡ください。

同窓会いずみに 公式LINEができました！

同窓会の活動や学校の情報、各種講座のお知らせなど情報をお届けします！
ぜひご登録ください！



編集後記

今号からレイアウトを一新し、電子化という革新的な一歩をスタートしました。編集しながらより多くの同窓生に届くよう、また和泉を懐かしみ訪れてみたいと思ってもらえるように心を込めて試行錯誤してきました。あらためて「同窓会っていいな」と感じました。これからも同窓生への支援、在校生、そして未来の和泉生たちにまで和泉愛が届くよう努めてまいります。

次号もどうぞお楽しみに！

同窓会いずみ 副会長 松井 芳弘

【編集・発行 同窓会 いずみ】

〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉2-2-1

(和泉短期大学事務局内)

電話：042-754-1133

FAX：042-753-2087

発行責任者：会長 川井 起彦

